

## 国内最高水準の高効率ごみ発電の達成と 副生成物資源化による最終処分量の最小化 上伊那広域連合 新ごみ中間処理施設整備運営事業

長野県上伊那広域連合は、同県南部に位置する2市3町3村（伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村）から構成され、中央／南アルプスの連峰に囲まれた天竜川系の清流が流れる豊かな自然と、天下第一と称されるさくらで有名な高遠城をはじめとする歴史文化が共存する地域です。

本事業は、同地域より排出される一般廃棄物を対象とするごみ処理施設を整備し、15年におよぶ運営・維持管理を行うものです。

今回採用された「流動床式ガス化溶融炉」は、国内トップの実績に裏付けられた高い安全・安定性を誇り、ごみの保有エネルギーを用いた自己熱溶融処理を行えるため経済性にも優れています。さらに本施設は、同規模で国内最高水準の発電効率（18.3%）を達成するとともに、処理により回収される溶融スラグ、鉄、アルミ等の副生成物を全量有効利用することにより最終処分場の延命化に寄与します。

### 事業の概要

#### ○事業者：【設計建設】

神鋼・ヤマウラ特定建設工事共同企業体  
（当社、株式会社ヤマウラによる乙型JV）

#### 【運営維持】

株式会社上伊那環境サービス  
（当社、神鋼環境メンテナンス株式会社2社共同出資による特別目的会社）

○事業方式：DBO方式（Design：設計，Build：建設，Operate：運営）

○事業期間：【設計建設期間】2016年2月～2019年3月までの約3年間

【運営維持期間】2019年3月～2034年3月までの15年間

### 施設の概要

○高効率ごみ発電施設      ごみ処理能力：118 t/d（59 t/d × 2系列）



新ごみ中間処理施設 完成イメージ図